

障害者支援施設ルーベンハイム志摩 地域連携推進会議 議事録

開催日時 令和8年2月23日(月) 14:00~15:30

開催場所 障害者支援施設ルーベンハイム志摩 2階フロイデホール

出席者 〔地域連携推進委員〕 利用者代表2名、利用者家族(議長)
福祉知見者(副議長)、地域関係者
〔施設関係者〕 施設長、事務担当、主任2名

【事務連絡】

開会に先立ち、本地域連携推進会議における以下の注意事項を施設長から地域連携推進委員にお伝えした。

○会議内で知り得た情報の秘密保持について

すでにご記入いただいている参加承諾書にも記載のとおり、本会議で知り得た個人情報等について、外部に漏らすことがないようにご配慮いただくこと。

○会議の議事録の取り扱いについて

会議終了後に議事録を作成し公表することが義務付けられており、当法人ホームページにて公表すること。その際には個人情報保護の観点から、「利用者代表」「家族代表」「福祉知見者」「地域関係者」といった参加者の所属表記とさせていただきますこと。

【開催挨拶】

定刻により、施設長から開会挨拶がある。

【出席者紹介・自己紹介】

施設長より、本日の参加者の所属、氏名の紹介があり、地域連携推進委員より一言ずつご挨拶をいただく。

またこの機会に議長、副議長を推挙し、承認を得た。

【議案等審議】

議題1 地域連携推進会議に関して

施設長より、地域連携推進会議の目的・役割や地域連携推進委員の訪問ポイントなどについて、厚生労働省の資料「地域連携推進会議の手引き」に沿って説明があった。

説明に対して、質問ならびに意見等なかったため、議題1は以上となる。

- 議題2 サービス内容、利用者の日常生活・活動の様子、経営状況、その他
施設長よりサービスの透明性ならびに質の確保を目的とした上記の説明があった。利用者代表からも各々の思いを話してもらい「一人暮らししたい」「もっと買い物や外出があったらうれしい」といったご意見、要望をいただいた。令和8年度から義務化される「地域移行等の意向確認等に関する指針の作成」「地域移行等の意向確認担当者の選任」「意向確認の実施と個別支援計画への反映」に通じることであり、また相談支援等との関係者連携が重要になることの確認を行った。
家族代表からは、意思確認の難しい利用者への家族が代弁することや支援員不足が顕著な状況のなかでサービスが変化することでの質の低下がないことをお願いするとのご意見をいただいた。
その他、意見や質問はなかったため議題2は以上となる。
- 議題3 施設等と地域との連携
施設長より「外出等での買い物機会や行事の案内」「地域生活支援拠点事業所として緊急時を含む短期入所等の受け入れ等による社会資源としての連携体制」について説明があった。
説明に対して、質問ならびに意見等なかったため、議題3は以上となる。
- 議題4 利用者の権利擁護
施設長より「虐待防止や身体拘束適正化に関する取り組み」「ひやりはっと・事故発生報告での検証や再発防止」「令和8年度から義務化される地域移行等に関する意向調査に向けた取り組み」などについて説明があった。
説明に対して、質問ならびに意見等なかったため、議題4は以上となる。
- 議題5 その他
災害時に関する取り組みについて、質問をいただいた。
施設長より、BCPの作成や施設の立地状況やハード面での設備説明と避難訓練の状況を説明があった。
説明に対して、質問ならびに意見等なかったため、議題4は以上となる。

【地域連携推進会議終了後】

利用者代表からは、緊張すると発言もあるが、終始落ち着いて参加され、思いを話される場面もあった。

家族代表からは、マンパワー不足のなかでも支援の質が下がらないように期待するとともに取り組みについて関心をもって聞いたとっていただいた。

福祉知見者からは、同じ社会福祉に従事する立場として、今後も協力体制で臨んでもらえることを確認する場となったとっていただいた。

地域関係者からは、利用者の日常や環境等を知る機会となったとっていただいた。

司会進行より、「以上をもちまして令和7年度 障害者支援施設ルーベンハイム志摩地域連携推進会議を閉会いたします」と宣し、15：20分に散会した。
また施設内の掲示物や生活・活動空間などの環境見学もしていただいた。